

土壌・堆肥・培土・原木の放射能測定結果(3月分)【全店】

店名	測定日	品目	区分	市町村	地区名	生産者名	核種 単位(Bq/kg)				検出限界	定量下限	測定時間	規制値	分析機関	参考	乾物		判定
							I-131	Cs-137	Cs-134	Cs合計							重量変化率	水分補正後	
1 牛久	3/3	サツマイモ苗床用落花生殻22年産	培土	牛久市	女化町	三好	不検出	72±9	58±6	131±11	33	30.7	30分	400	みずほ	369±54		○	
2 牛久	3/3	サツマイモ苗床用落花生殻23年産	培土	牛久市	女化町	三好	不検出	115±25	107±18	222±31	93	127.7	1時間	400	みずほ	1465±141		○	
3 つくば	3/4	陸田(上)姫ごのみ	土壌	つくば市	小野崎	荒井	不検出	138±5	86±4	223±6	20	15.9	30分		みずほ	205±31		○	
4 つくば	3/8	水田土(金沢1,2)	土壌	桜川市	真壁町	大関	不検出	52±6	33±5	85±8	24	15.8	20分		みずほ	467±33		○	
5 つくば	3/8	水田土(杉の木、関賢)	土壌	つくば市	北太田	関	不検出	78±8	41±7	119±10	31	21.4	20分		みずほ	481±47		○	
6 つくば	3/8	畑土(露地2)	土壌	つくば市	谷田部	中村	不検出	145±6	87±5	232±8	23	16	20分		みずほ	281±32		○	
7 水戸	3/19	牛糞堆肥	堆肥	水戸市	平須町	小松崎	不検出	38±3	26±2	65±4	12	17.3	1時間	400	みずほ	188±19		○	
8 つくば	3/19	水田土(夢1)	土壌	つくば市	手代木	中島崇	不検出	156±6	95±5	251±7	22	13.9	20分		みずほ	199±31		○	
9 つくば	3/19	水田土(夢2)	土壌	つくば市	手代木	中島崇	不検出	135±7	73±5	208±8	24	15.2	20分		みずほ	214±32		○	
10 つくば	3/19	畑土(ネギ)	土壌	つくば市	谷田部	中島政	不検出	163±6	93±5	255±8	23	13.7	20分		みずほ	272±33		○	
11 牛久	3/19	畑土(ジャガイモ)	土壌	牛久市	猪子町	飛田	不検出	281±5	152±4	433±7	20	11.1	20分		みずほ	216±30		○	
12 つくば	3/20	シイタケ椀木	原木	つくば市	面野井	高谷悦	不検出	70±11	45±8	115±13	39	39	30分	150→50	みずほ	348±60		△	
13 つくば	3/20	畑土(うり)	土壌	つくば市	谷田部	鈴木	不検出	71±5	41±4	111±6	19	12.4	20分		みずほ	192±29		○	
14 つくば	3/20	畑土(みょうが)	土壌	つくば市	谷田部	高山	不検出	103±5	64±3	167±6	17	9.5	20分		みずほ	303±22		○	
15 つくば	3/20	畑土(南瓜)	土壌	つくば市	大井	小川	不検出	147±5	89±4	236±7	20	12.8	20分		みずほ	224±29		○	
16 つくば	3/20	畑土(ジャガイモ)	土壌	つくば市	柳橋	みずほ	不検出	74±5	48±4	122±6	19	12.4	20分		みずほ	215±27		○	
17 つくば	3/23	蓮田(水分含む)	土壌	土浦市	沖宿	八島	不検出	57±4	36±3	93±5	15	11.1	30分		みずほ	223±23		○	
18 つくば	3/23	シイタケ椀木(カリ溶液)	原木	つくば市	面野井	高谷悦	不検出	38±7	31±5	69±9	26	38.6	30分	150→50	みずほ	386±40		△	

※測定方法「TN300Bベクレルモニター 検出器:高感度NaI(Tl)シンチレータ3インチを使用」(テクノエービー社製)

※一次スクリーニングとしての測定値です。

用語解説

I-131	放射性ヨウ素131 物理学的半減期8.04日 原発事故当初に問題になった核種 平成23年4月20日以降検出されていません。
Cs-137	放射性セシウム137 物理学的半減期30年 体内に入った場合の実効半減期99日(1歳児の場合新陳代謝が盛んなため生物学的半減期は9日程度とされています。)
Cs-134	放射性セシウム134 物理学的半減期2.1年 実効半減期88日
検出限界	測定した試料の中に放射性物質が「ある」か「ない」かを判断できる限界の量。(正味計数率)±(計数誤差)で、正味計数率が計数誤差の3倍を超えた場合を検出と判定しています。
定量下限	測定を行って得られた値が「十分な信頼性」を持つ下限の量。検体の密度と重量に依存しています。
測定時間	測定値の信頼性を高めるためには十分な測定時間が必要です。20分以上の計測時間をとるようにしています。
規制値	平成24年4月1日より一般食品の放射性セシウムの基準値が100Bq/kg。堆肥・培土の暫定許容値400Bq/kg。飼料の暫定許容値300Bq/kg。きのこ原木の指標値50Bq/kg。きのこ菌床の指標値150Bq/kg。
K-40	原発事故とは関係なく、天然カリウム中に少量(0.017%)存在するカリウムの同位体。半減期は12.48億年。
重量変化率	干しいたけや切干大根等の乾燥食品の場合、測定値を重量変化率で割った値が、当該食品の分析値になります。
水分補正後	この数値が規制の対象になります。

みずほの村市場では、上記のように出荷農家の圃場のリスクを計測し、リスクが高い圃場には対策を徹底し放射能の検出されない農産物の生産に努めていく所存です。

使用する堆肥や培土の暫定許容値は400Bq/kgです。原木の指標値はこれまで150Bq/kgでしたが、4月から50Bq/kgに指標値が強化されました。

現在、指標値を超える原木に関しては、肥料として一般的にも使用されている硫酸カリウムを使用し、原木の除染に挑戦しています。

いずれにせよ、出荷される原木シイタケは一般食品の規制値を大きく下回ったものみの販売になります。

測定協力:みずほ消費者モニター

測定責任者:株式会社みずほ 生産研究部長 高橋広樹(090-2442-1459)